

・ 授 業 名 科 目 名	作 業 治 療 学Ⅷ(発 達①)	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2 年(前 期)
担 当 教 員 名	開 発 基 文	単 位 数	1 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 自閉症スペクトラムをはじめとした発達障害児の臨床像を理解し、治療や介入について様々な視点から理解する。</p> <p>〔学習目標〕 ① 発達期障害という観点から乳幼児期～老年期のライフステージに沿って、どのような障害が生じるかを説明する。 ② 発達障害分野における作業療法についての実践の基礎学習。</p>		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	小児の作業療法過程		
第 2 回	評価・治療・援助のための基礎知識		
第 3 回	心身機能の発達過程		
第 4 回	感覚統合とは		
第 5 回	発達障害-広汎性発達障害①		
第 6 回	発達障害-広汎性発達障害②		
第 7 回	発達障害-注意欠陥・多動症		
第 8 回	発達障害-学習障害		
第 9 回	知的障害・ダウン症候群		
第 10 回	TEECH プログラム		
第 11 回	TEECH プログラム(演習、プログラム作製計画立案)		
第 12 回	地域との連携(特別支援学校、通級、普通級での支援)		
第 13 回	地域との連携(児童デイサービス、発達相談等での支援)		
第 14 回	障害児の保護者への子育て支援		
第 15 回	まとめ		
評 価 方 法	小テスト(30%)、レポート等課題(70%) 定期試験はありません。		
教 科 書 参 考 図 書	<p>〔教科書〕 イラストでわかる発達障害の作業療法(医歯薬出版株式会社) 改訂第2版 子どもの能力から考える発達障害領域の作業療法アプローチ</p> <p>〔参考図書〕 作業療法学ゴールドマスターテキスト 発達障害作業療法学(メジカルビュー) 広汎性発達障害の作業療法 根拠と実践 (三輪書店)</p>		
履 修 上 の 留 意 点	教科書と配布プリントを中心に授業を進めていきます。あらかじめ、教科書等を熟読の上講義に臨むことを推奨します。		
メ ッ セ ー ジ	子どもに対する作業療法は、子どもと楽しさを共有できるところがすばらしいです。まずは興味をもってもらえればと思います。		